

平成二十五年八月五日提出
質問第一〇号

日本の格差対策に関する質問主意書

提出者 長妻 昭

日本の格差対策に関する質問主意書

格差についてお尋ねする。

一 いわゆる格差が拡大する格差社会の深刻さについて、内閣として、どう把握して、どのような対策を考
えているか。

二 親の年収による子の教育格差が深刻である。内閣として、この問題の深刻さについて、現状をどう把握
して、どのような対策をお考えか。

三 年収による結婚率に大きな差が出ている。非正規雇用と正規雇用との結婚率も2倍以上違い、結婚格差
が深刻である。内閣として、この問題の深刻さについて、現状をどう把握して、どのような対策をお考え
か。

四 非正規雇用者が2000万人に上り、正社員との格差が深刻である。内閣として、この問題の深刻さに
ついて、現状をどう把握して、どのような対策をお考えか。

五 格差が拡大すると富裕層にも精神疾患が増え、子どもの学力が低下し、治安が悪くなるという研究結果
がある。内閣としては、同様の見解をお持ちか否か。また、格差拡大による負の影響にはどのようなもの

があると認識しているか。

六 日本社会の所得格差は、社会が許容できる限界に迫っているとお考えか否か。

本質問に関しては、質問番号を束ねた回答ではなく、質問番号ごとに、具体的にご回答をいただくことを願います。また、最近は、答弁書で「意味することが必ずしも明らかでないため、お答えすることは困難である」との答弁をもって、回答を拒否するケースが多いが、これは厳に慎んでいただきたい。

右質問する。